

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141

15 2 19

日程

二月一六日(月) 税務署交渉予定
三月二日(月) 理事会
三月一三日(金) 重税反対全国統一行動

現在の業者の置かれている状況に怒り沸騰!

～松浜支部・申告準備会～

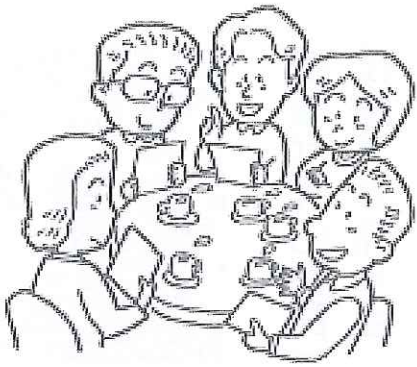
松浜支部では一月に松浜地域と濁川地域の二カ所で申告準備集会を開催し、二十二名の会員が参加しました。支部では集会に向けて「通則法に対応した記帳への認識が進んでいないのではないか?」「消費税の計算が例年と違うことを知らせないとダメだ」と役員会で話し合い、二回の会員訪問を行ない会員に参加を呼びかけました。

集会では、まず全商連の実態調査を行いました。みんなで記入を進めることで、意見がどんどん出されます。「材料が上がって利益が出ない」「年金ももらっているが光熱費を払うと無くなる」などほとんどが怒りの声です。また、滞納の設問のところでは、ある会員から「国保が高すぎる。昨年、市に

分納を頼みに行ったがダメだと怒られた。泣く泣く親戚からお金を借りて納付した」などの話が出されました。

そこで役員から、大形支部・富樫さんの差押財産返金の記事を、実際に商工新聞を開きながら説明すると「民商はこんなことまで相談できるの?」と驚きの声が上がります。「こうした記事は商工新聞しか載らない。だから商工新聞を増やすのは人助けにつながるんだよ」との役員の訴えに参加者一同、真剣に聞いていました。

最後に各々が日々取り組んでいる記帳を交流し、お互いの記帳を高め合いました。



全国中小業者決起大会

—N東京

日比谷公会堂

一月二九日(木)、全国から約一五〇〇名が参加し全国中小業者決起大会が行われました。

保史議員を訪れ、増税中止の署名を直接渡すとともに、統一地方選での勝利をめ

ざそうと熱い握手をかわしていました。

東京到着後各班にわかれ、国会議員要請行動をおこないました。議員本人の不在が多い中、民主党菊田真紀子議員にお会いする事ができ、県連会長の渡部さんを中心に、中小業者は消費税増税で苦しんでいる。こういった声を国会で反映させてほしいと請願。三条

関屋支部の大島さんが、保険業法が営利を目的としたものに切り替えられようとしている。助け合いの共済がつぶされないようにと訴え、内野支部の萱森さんは、新潟市に気を配ってほしい。民主党が自民党をしつかり監視してくれなければ困ると訴えました。

で農業をされている会員さんは、コメの価格が下がりやめた所も多いと訴えました。菊田議員から個別所得補償制度を廃止した農協が悪いとの回答でした。

石山支部の市橋さんは共産党の藤野



藤野議員に署名を渡す石山支部の市橋さん

日比谷公会堂の集会では、中小業者なくして地域発展なしと不正税制の是正がかげられ、全国の声が届けられました。共産党議員からは、政党助成金廃止法案を提出したことが報告されました。集会終了後、国会までデモ行進を行い「消費税増税中止・TPP参加はやめよ・新基地建設反対」等訴えました。

業者青年一人ひとりを大切に 青年部を強く大きく!

第三四回新商連青年部協議会定期総会

二月一日(日)、三条の三観荘で新商連青年部協議会第三四回定期総会が開かれました。県内各民商から代議員が集まり、総勢で十九名が参加しました。

新潟県青協はこの一年間、毎月開催される機関会議を中心に、先の運動を見据えながら活動を行ってきました。昨年九月に開催された第十四回全国業者青年交流会を全県民商青年部からの参加で成功させるため、二か月前の七月に県青協交流会を開催。

十一月に開催された全青協総会へ向かう運動を広げるため、十月に県青協学習会を開催など、地域、県、全国への流れを作り上げてきました。

第三九回全青協総会は、各青年部の奮闘により増勢で迎えることが出来、全国との連帯を深めました。

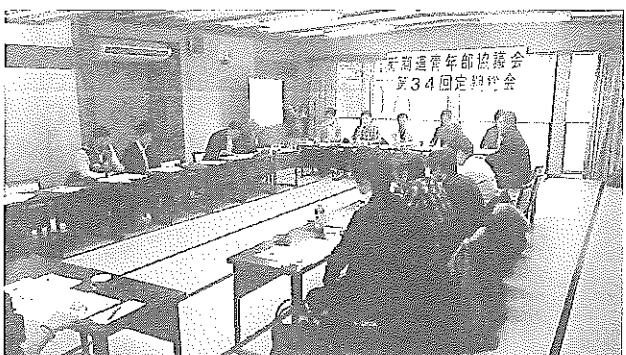
参加者全員で討論

総会の全体討論では、各行事に参加した方からの発言がありました。全国業者青年交流会の参加者は「親子で参加することが出来たのでよかった」「初参加で不安だったが、県青協幹事と交流することで不安がなくなり楽しむことが出来た」と発言しました。

全青協総会の参加者からは「十年後二十年後も今のよう
に民商があり続けられるようにしたい。と言った茨城県青協の代表発言がよかった」この発言について小林会長は「青年のあゆみに載っているのは是非読んでほしい」と呼びかけました。

今回の総会では、参加者全員

で民商に入ったきっかけを話したり、それぞれの活動内容・問題点について発言し情報を共有しながら、これからの方針を確認できた総会となりました。



申告書完成班会はじまる

亀田支部

一月三十一日、先陣を切って亀田中島班の申告書完成班会を開きました。事務局を含む八名が参加しました。

最初に、松本副会長よりパネルの説明をして頂きました。時間も限られていたので税務調査の現状と、記帳の大切さを訴えて頂きました。立会いを認めない税務署に対応に色々な意見がでました。

この班の会員さんはキッチリ自主記帳を行っており、申告書の下書きまで完成させての参加です。医療費控除で若干の質問がありましたが、基本的には事務局が検算するだけで終了です。

念のため日計表を確認しましたが大きな問題なし。記帳義務化が実施されてからの初めての申告だったので不安が多かったようですが、何とか乗り切った感じです。出足好調で完成班会がスタートしました。



私も共済会加入します

(損保代理店会員) 関屋支部新年会

春の運動を元氣よく取り組もうと、関屋支部は一月二十六日に会員の居酒屋で新年会を開きました。最初に居酒屋も営む損保代理店の社長が「民商のみなさんが幸せになるよう、さらに世界が平和になるようお互いに商売をがんばりましょう」と歓迎のあいさつ。近藤支部長のリードのもと、半数近くが女性の参加でなごやかで笑いが絶えない楽しい新年会になりました。

その席で商売柄入会以降二十八年間、全商連共済会に未加入だった損保代理店の社長が「民商共済会のことを詳しく聞きたい」と支部長に伝え、後日事務局が説明に伺いました。社長は「私たちは保険を勧める立場なので加入しない出来たが、この度詳しく説明を受け、民商の共済会がいい共済であることがよく分かりました」と話し、加入(3月1日発効)の約束になりました。

全会員加入をめざしてきた関屋支部の大島さん(共済会会計・三役)は、「いままであきらめないで一生懸命加入を進めてきた甲斐があった」と大喜びです。

